

社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金) 事後評価書

平成28年 2月19日

計画の名称	1 河内長野市における循環のみちの実現									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			交付対象	河内長野市					
計画の目標	下水道整備を行い、安全、安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	・下水道処理人口普及率を 71.1% (H22) から 90.1% (H26) に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
	下水道処理人口普及率 下水道整備区域内人口 (人) / 総人口 (人) (113,660人 (H26末見込み))						71.1%	87.5%	90.1%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,901百万円 1,502百万円	A	1,775百万円 1,415百万円	B	百万円 百万円	C	126百万円 87百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.6% 5.8%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
河内長野市上下水道部内の組織において評価を実施。	平成28年1月
	公表の方法
	本市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗の状況

交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											H22	H23	H24	H25	H26				
狭山処理区																			
1-A-3	下水道	一般	河内長野市	直接	-	汚水	新設	天野川処理分区 (汚水管1)	汚水管 φ=75~200mm L=6,200m	河内長野市						483.4			
									汚水管 φ=75~250mm L=3,580m							286.0			
1-A-4	下水道	一般	河内長野市	直接	-	汚水	新設	河内長野第二処理分区 (汚水管2)	汚水管 φ=75~200mm L=13,500m	河内長野市						1,277.5			
									汚水管 φ=50~400mm L=11,328m							1,129.3			
1-A-6	下水道	一般	河内長野市	直接	-	汚水	新設	河内長野第一処理分区 (汚水管4)	汚水管 φ=75~200mm L=200m	河内長野市						14.0			
									-							0.0	単独費にて施工		
合計																1,774.9			
合計																1,415.3			
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											H22	H23	H24	H25	H26				
合計																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考							

社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金) 事後評価書

平成28年 2月19日

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	下水道	一般	河内長野市	直接	-	新設	天野川処理分区污水管渠(支線)	污水管 φ=200mm L=700m	河内長野市						53.9		
								污水管 φ=200mm L=488m							35.8		
1-C-2	下水道	一般	河内長野市	直接	-	新設	河内長野第二処理分区污水管渠(支線)	污水管 φ=200~300mm L=900m	河内長野市						68.8		
								污水管 φ=200mm L=794m							49.9		
1-C-4	施設設備	一般	河内長野市	間接	個人	排水設備	天野川処理分区各戸排水設備設置の助成金	宅内排水設備137戸分	河内長野市						1.2		
								宅内排水設備32戸分							0.3		
1-C-5	施設設備	一般	河内長野市	間接	個人	排水設備	河内長野第二処理分区各戸排水設備設置の助成金	宅内排水設備233戸分	河内長野市						2.1		
								宅内排水設備55戸分							0.5		
1-C-7	下水道	一般	河内長野市	直接	-	新設	河内長野第一処理分区污水管渠(支線)	污水管 φ=200mm L=10m	河内長野市						0.2		
								-							0.0	単独費にて施工	
合計																126.2	
合計																86.5	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	基幹事業(1-A-3)と接続する污水管渠(支線)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。	
1-C-2	基幹事業(1-A-4)と接続する污水管渠(支線)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。	
1-C-4	基幹事業(1-A-3)で整備する下水道の面整備に併せて、地域住民に各戸排水設備を助成することで下水道接続率の早期向上を図る。	
1-C-5	基幹事業(1-A-4)で整備する下水道の面整備に併せて、地域住民に各戸排水設備を助成することで下水道接続率の早期向上を図る。	
1-C-7	基幹事業(1-A-6)と接続する污水管渠(支線)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・污水管渠の整備を促進したことにより、下水道処理人口普及率が19%増加し良好な生活環境を図る目的を達成することができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道処理 人口普及率)	最終目標値	90.1%	目標値と実績 値に差が出た 要因	当初計画の予想と比較し、分母である市行政人口の減少が顕著であったため。
		最終実績値	90.7%		
		最終実績値		目標値と実績 値に差が出た 要因	
		最終実績値			
		最終実績値		目標値と実績 値に差が出た 要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項(今後の方針等)

今後も下水道処理人口普及率の向上を目指し、下水道整備をすすめ、安全、安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。
要素事業番号1-C-4および1-C-5の排水設備設置の助成金については、交付金を受け取ったのが平成24年度のみであり、毎年度単独費で助成をおこなっている。

(参考様式3) 市街地整備

